琉球新報と沖縄タイムスに掲載(4月3日)

多彩な舞台と福祉施設の製品、市内特産物が格安販売されにぎわうチャリティーイベント＝3月23日、うるま市健康福祉センターうるみん

琉球新報4月3日

能登支援でイベント

うるま市福祉事業所連絡会

【うるま】能登半島地震被災者を支援しようと、うるま市福祉事業所連絡会（新崎盛文議長）主催のチャリティーイベントが3月23日、市健康福祉センターうるみんホールで開催された。イベントには市民が多数詰めかけ、5時間にわたった舞台には太鼓や二胡、ウクレレ演奏、合唱、空手、民謡歌手の特別出演など多彩な演目があった。

福祉施設の各種製品や手作りの沖縄そばのほか、企業、団体から寄贈されたモズク、塩製品、卵、菓子、パン類など市内特産物の格安販売も人気を集めた。

これまでの取り組みでは施設通所の障がい者は工賃から500円、職員もカンパを行っており、同連絡会の集計でイベントを含めた支援金は計約97万8千円になった。26日、それから諸経費を引いた87万4768円を全国社協・全国就労センター連絡協議会に復興支援金として託した。

新崎議長は「障がい者らの声は市内外に大きなインパクトを呼んだ。高額寄付が相次ぎ、イベントも盛り上がった。福祉施設への関心にも結び付いている」と感謝した。（岸本健通信員）

琉球新報 4月3日掲載

2024 沖縄タイムス 4月3日

しましま 中部

【うるま】うるま市内の障がい者福祉施設や企業、個人らで立ち上げた「能登地震被災者支援うるま市福祉事業所連絡会」（新崎盛文代表）は3月23日、同市健康福祉センターうるみんでチャリティーイベントを開いた。福祉施設の利用者や職員、地域の企業や団体が協力し、ステージや物販を展開。会場は賛同した能登半島地震の被災者支援のため合唱やウクレレ演奏を披露する出演者＝3月23日、うるま市健康福祉センターうるみん

能登支援 演奏に心込め

うるま 福祉施設や企業催し

現地の作業所に87万円

人や家族連れでにぎわった。

同会は1月下旬に発足。石川県の能登半島地震で被災した障がい者や高齢者、子どもたちが不安な思いをしているという報道がきっかけだった。

事務局長で就労継続支援B型事業所「うるまチャレンジド」代表の佐久田盛徳さん（83）は、被災状況を知り「食事が喉を通らなかった。何とかしなければ」と活動を始めた。

イベントには、福祉施設の関係者のほか、賛同した企業や地域の団体、民謡歌手のよなは徹さんらが参加。太鼓やウクレレ、民謡など多彩なステージで盛り上げた。

「能登に届きますように」と心を込めてウクレレを演奏した「うるまチャレンジド」利用者の佐久田未子さん（63）は「多くの人が集まりうれしい」と笑顔を見せた。

会場では、そばや菓子、手作りの小物などの販売も。来場した新里靖子さん（36）は「楽しみながら寄付できる」と、夫や子どもと昼食を楽しんでいた。

新崎代表は「健常者や障がい者の枠を取り払い、いい社会へつなげる活動を続けていきたい」と話した。

企業からの協力金やイベントの売上金から経費を引いた87万4768円を、全国社会福祉協議会を通して能登町の障がい者共同作業所に支援金として贈る。

（社会部・屋冨祖々子）

那覇 098(860)3552 FAX 098(860)3483
浦添・西原 098(860)3553 FAX 098(860)3486
情報提供 MAIL